

フレームキッチン

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

■取扱説明書・保証書は必ずお客様にお渡しください。

■冊子末尾に複写式の「施工完了報告書」が付いています。施工完了後これをもとに各部の検査をお願いいたします。

もくじ

1. 安全上の注意	2
2. 取付け前の確認	4
3. 部材の確認	6
4. フレームの組立て準備	7
5. フレームの組立て	8
6. 部材の設置 1	10
7. カウンターの取付け	11
8. 床固定	12
9. 機器の取付け	14
10. 水栓・排水金具の取付け	14
11. 部材の設置 2	15
12. 設置後の確認	15
13. ホルムアルデヒドについて	15
<hr/>	
建築工事店様へ	16
水道工事店様へ	17
ガス工事店様へ	18
<hr/>	
施工完了報告書	19

1 安全上の注意(安全のために必ずお守りください。)

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では製品を正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵記号で区分し、説明しています。

表示	意味
	してはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

警告



必ず実行

フードは建築壁・天井の構造を確かめて確実に取付けてください。

取付けを誤ると、使用中に取付けねじがゆるみ、フードが落下してケガをするおそれがあります。

※フードを壁付けする際の下地材は木棧(90mm×30mm)を使用してください。コンクリート型枠用合板を使用する場合は必ず厚みが12mm以上のJAS規格品を使用してください。

※フードを天井固定する際の本は90mm×90mm程度のものを使用し、耐荷重1960N/本(200kgf/本)を確保してください。



必ず実行

電気配線工事・給排水工事・ガス配管工事は関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行ってください。

接続や規程が不完全な場合は、発煙や火災・漏水の原因となります。

注意



必ず実行

配水管の接続部は、説明書にしたがって必ず接着してください。

接続部に隙間があると、不快な臭いやカビの発生および漏水の原因になります。



必ず実行

キッチンに組込まれている水栓・調理機器・フード・その他機器については、それぞれの商品の施工説明書・本体の注意表示を必ずご覧いただき、正しい取付け工事を行ってください。

取付け方を誤ると、使用中にケガをしたり、事故や故障の原因となります。



必ず実行

取付け・仕上げ工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については容器などに記載の注意表示にしたがって正しくお使いください。

誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、キッチン部材の損傷や劣化の原因となります。



必ず実行

取付け工事完了後、試運転および各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

取付けを誤ると、使用中にケガをしたり、事故や故障の原因となります。

2 取付け前の確認

1.取付け前に、下記の確認を行ってください。

設置に必要な部材はそろっていますか？

施工図に基づき確認してください。

壁および床の仕上げはされていますか？

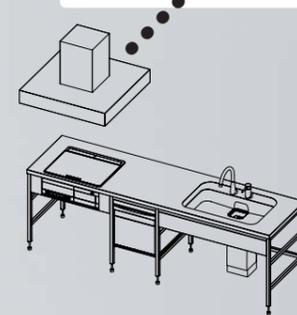
キッチン設置前に壁・床の仕上げを完了してください。

ワイヤレススイッチユニットは組み込みますか？

組み付ける場合、止水栓位置を-60mm低くする必要があります。

センターフードを使用しますか？

使用する場合、天井に指定の木枠が入っていることを確認してください。



お客様希望のカウンター高さはいくつですか？

このキッチンには施工時にカウンター高さを調整します。

グリル付調理機器を組み込みますか？

組込む場合、カウンター固定前に専用部材を取付ける必要がありますのでご注意ください。

食洗機は組み込みますか？

組込む場合、食洗機用の給湯・排水管・電源が設置されていることを確認してください。

シンク前幕板を取付けますか？

取付ける場合、カウンター固定前に専用部材を取付ける必要がありますのでご注意ください。

床暖房ユニットがキッチン設置位置に取付されていませんか？

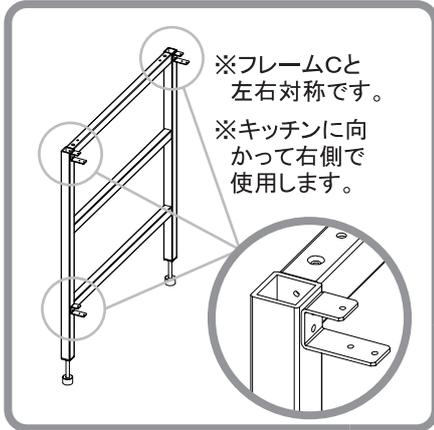
床暖房ユニットをご使用の場合、床固定作業時にご確認ください。

給排水・ガス配管・電気配線ダクトの位置が所定の位置についていますか？

施工図に基づき確認してください。

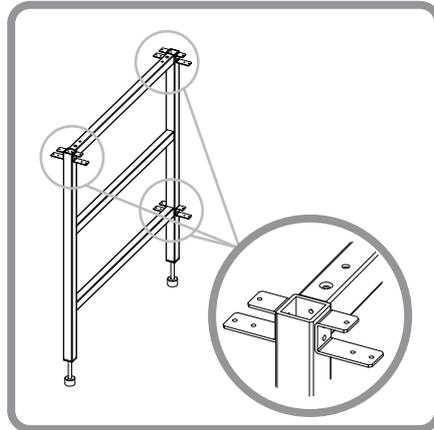
3 部材の確認

以下の部材が入っているか確認してください。



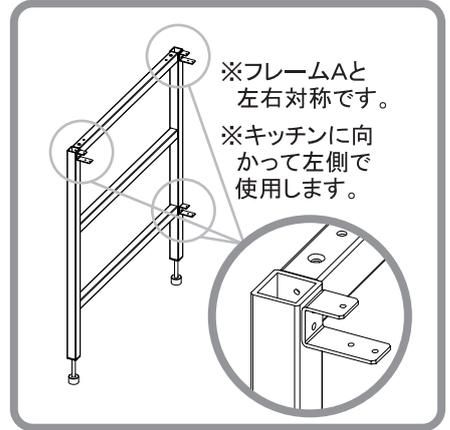
フレームA

1ヶ



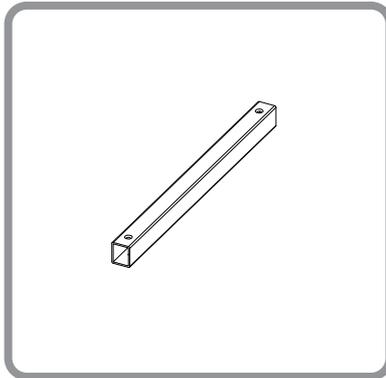
フレームB

2ヶ



フレームC

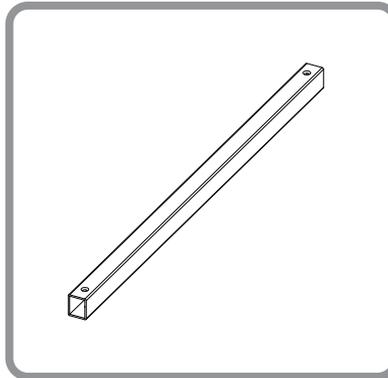
1ヶ



中間部用
横棧

L450mm

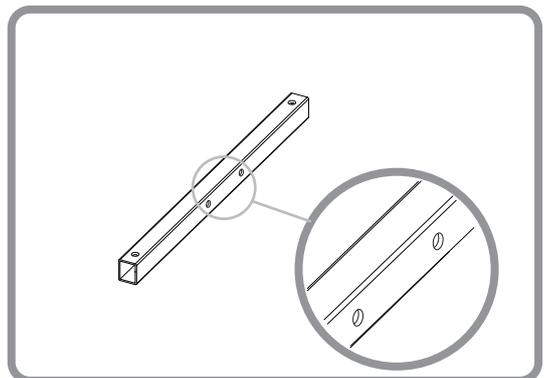
3ヶ



調理機器部用
横棧

L835mm

3ヶ

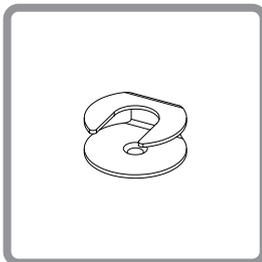


シンク部用
横棧

KBBX210の場合
L685mm
KBBX255の場合
L1135mm

3ヶ

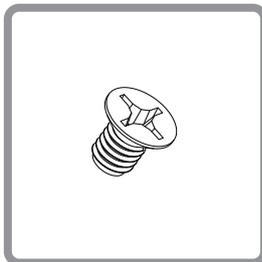
付属部品



アジャスター
クリップ

8ヶ

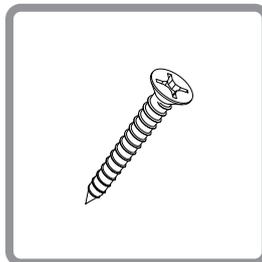
※フレームを床固定
するために使用し
ます。



皿小ネジ
※M4×6

54ヶ

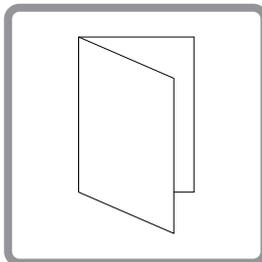
※フレームの組立て
に使用します。



皿タッピンネジ
※Φ3.5×25

8ヶ

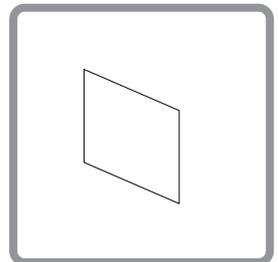
※フレームを床固定
するために使用し
ます。



取扱い説明書

1冊

※お客様にお渡し
ください。



メンテナンス
ラベル

1枚

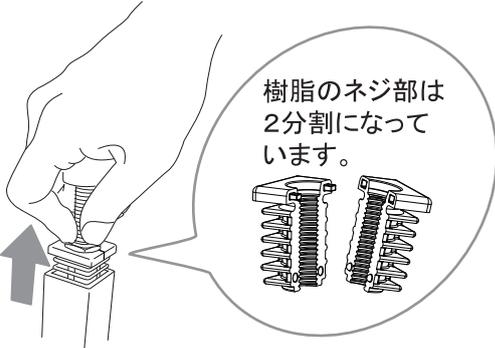
※記入後、カウン
ター上に仮止め
してください。

4 フレームの組立て準備

各フレームの高さを調節してください

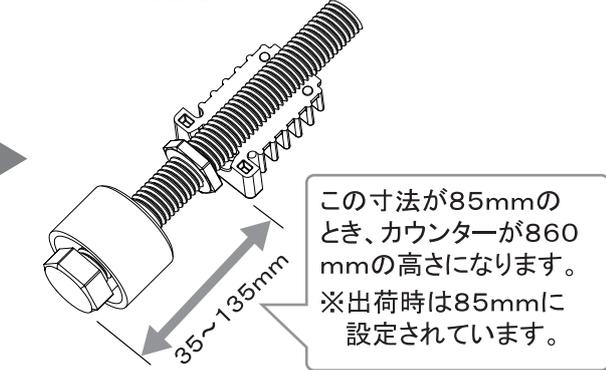
各フレームについているネジ部でこのキッチンの高さを調整します。
設置後にも調整できますが、最初に大まかな調整を行ってください。

①ネジ部を持ち、引くと抜けます。



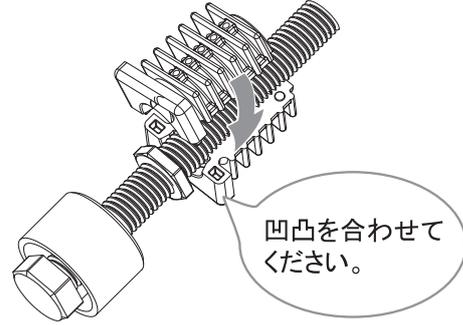
樹脂のネジ部は2分割になっています。

②樹脂ネジ片方だけで任意の位置に調整して



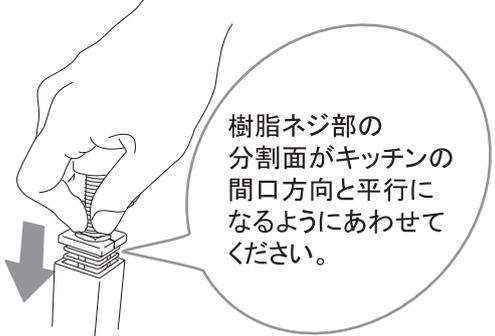
この寸法が85mmのとき、カウンターが860mmの高さになります。
※出荷時は85mmに設定されています。

③もう1方の樹脂ネジを戻して



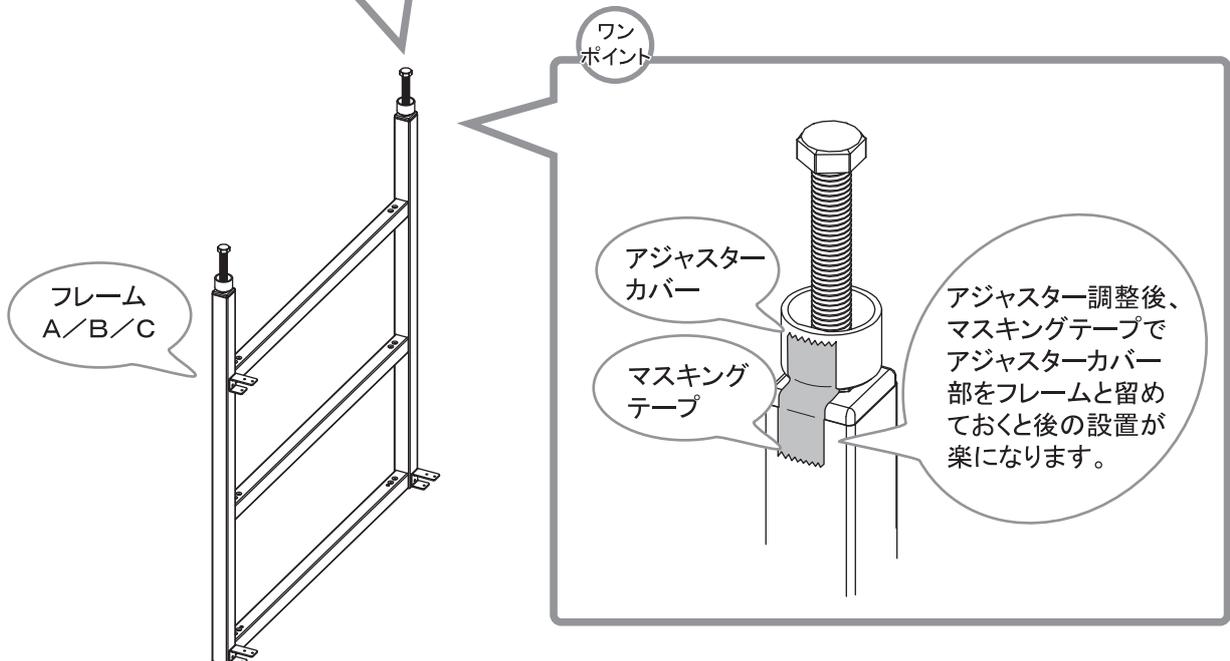
凹凸を合わせてください。

④フレームにはめ込みます。



樹脂ネジ部の分割面がキッチンの間口方向と平行になるようにあわせてください。

ワンポイント



フレーム A/B/C

アジャスターカバー

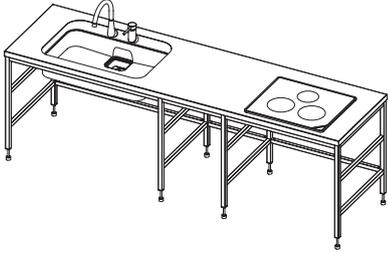
マスキングテープ

アジャスター調整後、マスキングテープでアジャスターカバー部をフレームと留めておくこと後の設置が楽になります。

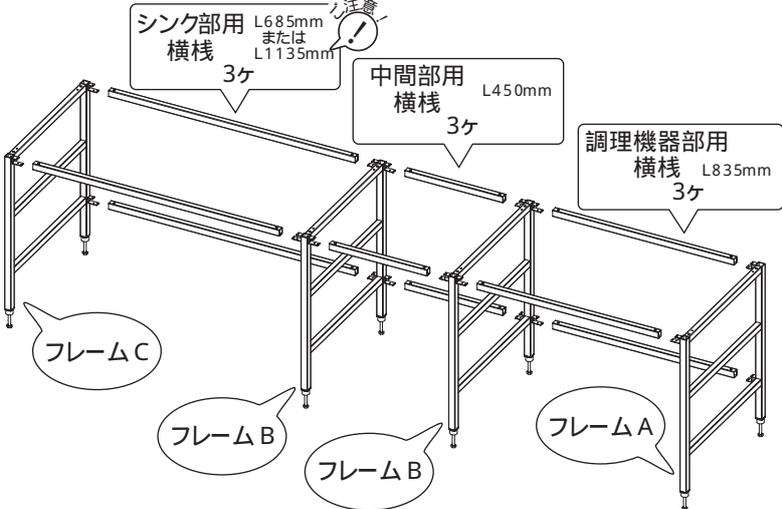
5 フレームの組立て

フレームを以下のように連結して組立ててください

左側シンク・グリルレス
調理機器の場合



完成イメージ



シンク部用横棧 L685mm
または L1135mm 3ヶ

中間部用横棧 L450mm 3ヶ

調理機器部用横棧 L835mm 3ヶ

フレームC

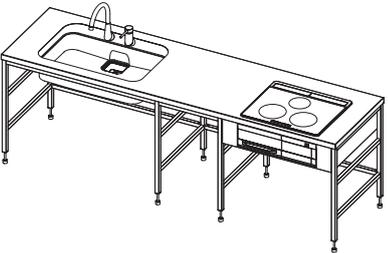
フレームB

フレームB

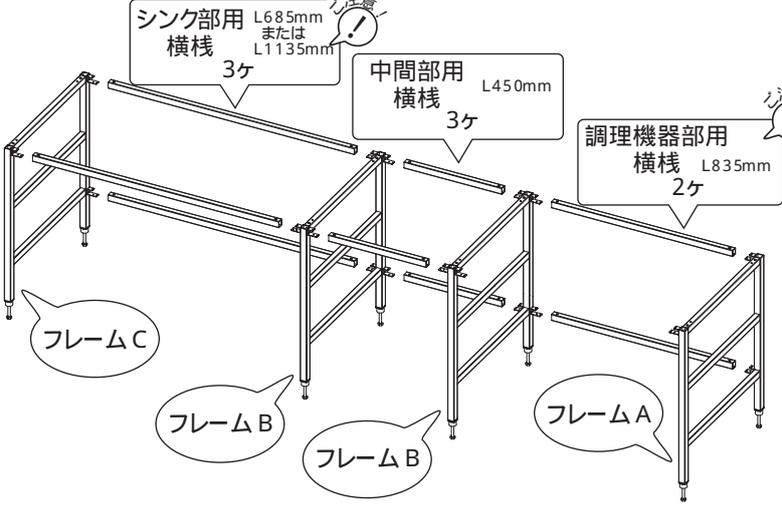
フレームA

注意!

左側シンク・グリル付
調理機器の場合



完成イメージ



シンク部用横棧 L685mm
または L1135mm 3ヶ

中間部用横棧 L450mm 3ヶ

調理機器部用横棧 L835mm 2ヶ

フレームC

フレームB

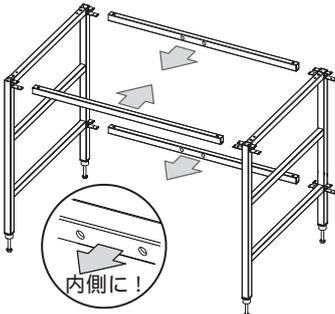
フレームB

フレームA

注意!

注意! 組立て時の注意・ワンポイント

横棧 Sは下穴があいている方が内側になるようにしてください。

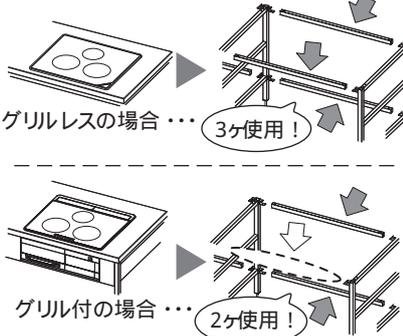


内側に!

横棧 Gは取付けるコンロによって使用数量が異なります。

グリルレスの場合... 3ヶ使用!

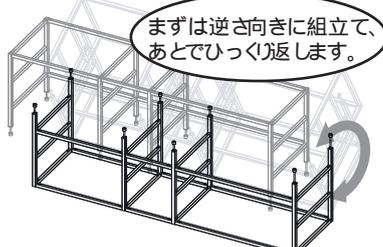
グリル付の場合... 2ヶ使用!



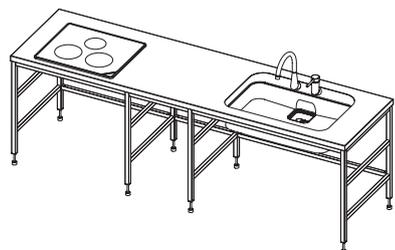
ワンポイント

フレームは逆さにして組立てると楽に組立てることが出来ます。但し、その際は完成後の向きに十分注意して組立ててください。

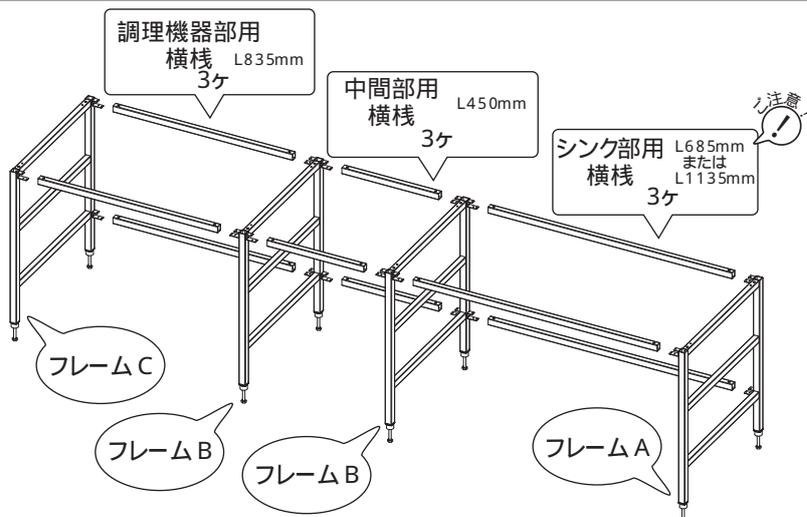
まずは逆さ向きに組立て、あとでひっくり返します。



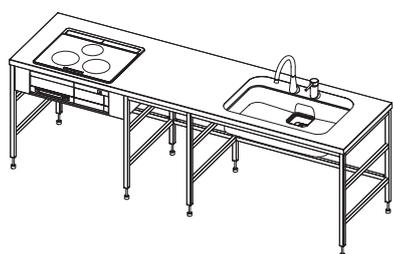
右側シンク・グリルレス
調理機器の場合



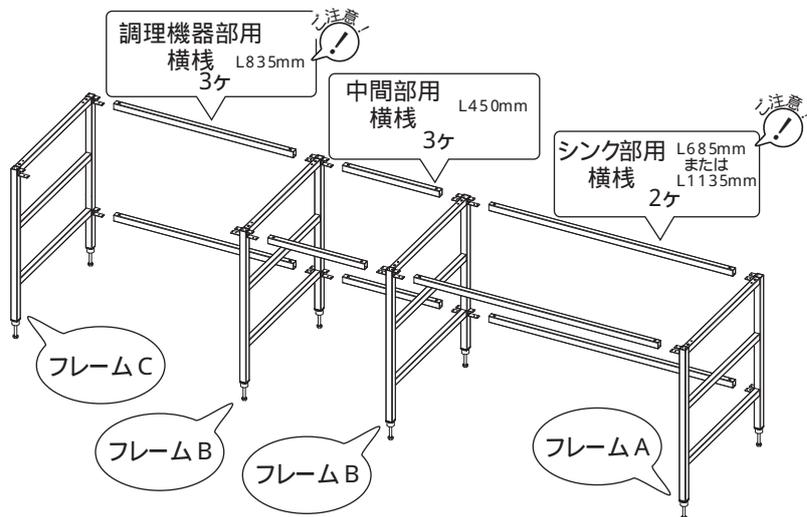
完成イメージ



右側シンク・グリル付
調理機器の場合



完成イメージ



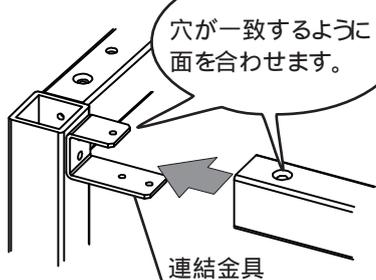
! 注意



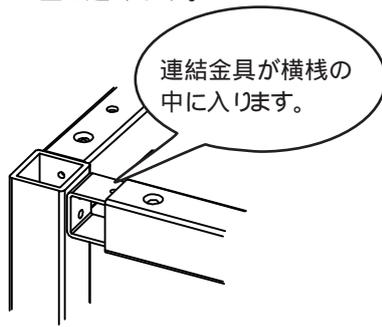
フレームの連結は確実にこなしてください。
ネジが緩み、くらつきや変形の原因となります。

フレームの連結方法

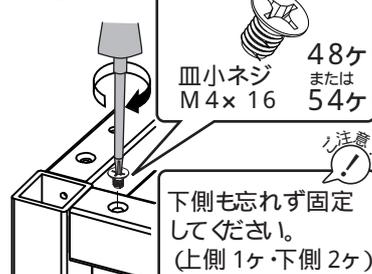
フレームの連結金具と横棧の穴
が一致するように面を合わせて
ください。



フレームの連結金具に横棧を
差し込みます。



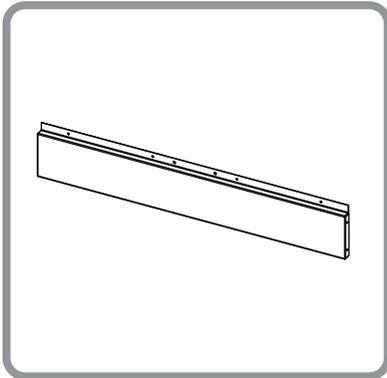
横棧と連結金具を付属ネジで
固定します。



6 部材の設置 1

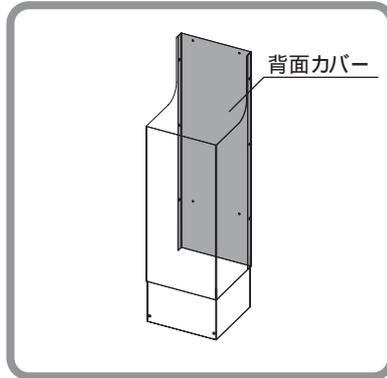


下記の部材はカウンター固定前に設置する必要がありますので使用される際は各製品の施工説明書をご参照の上、必ずこの時点で取付けてください。



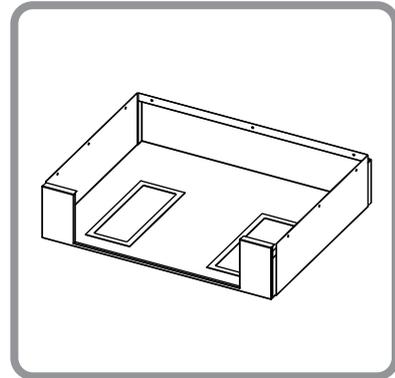
KBOM 068/113SC
幕板 (シンク用)

この段階で設置しないとシンクによって設置できなくなります。



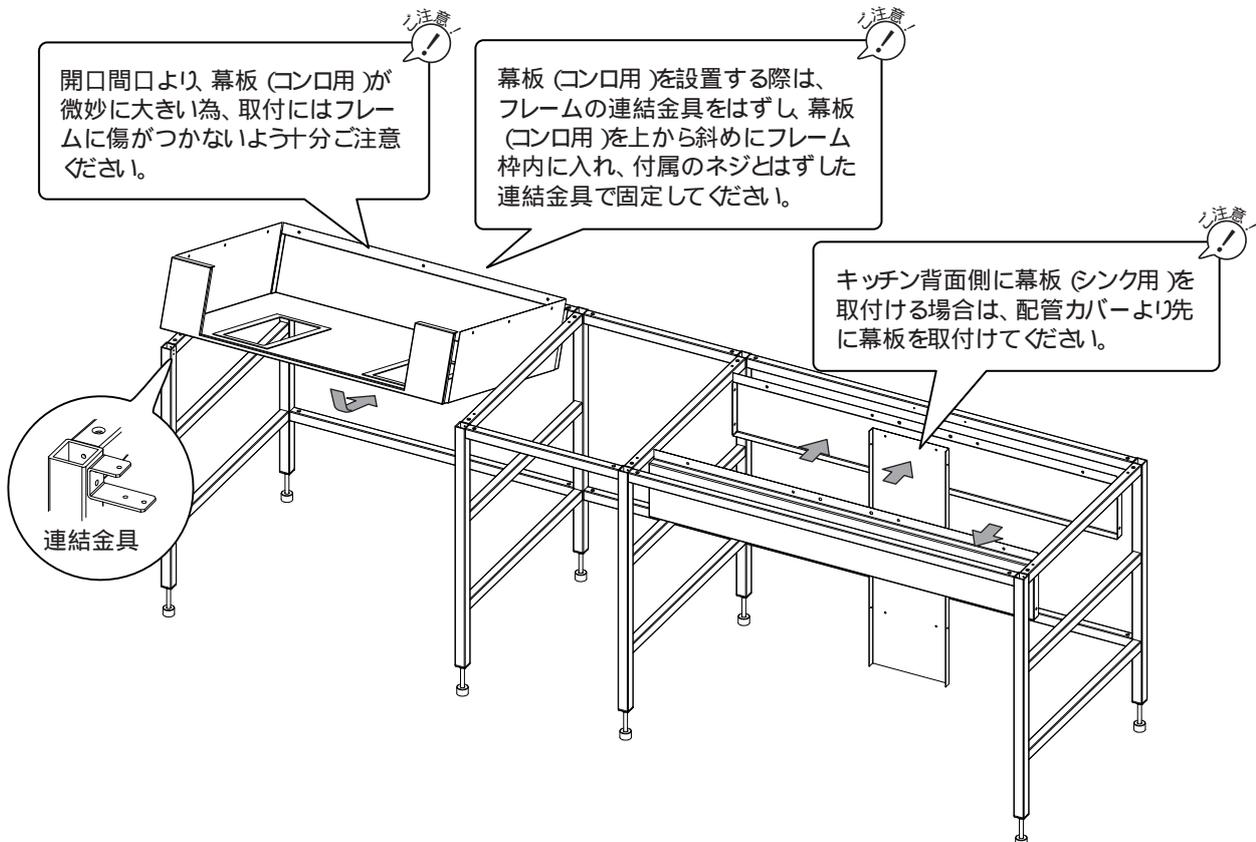
KBOX1
配管カバー

配管カバーの背面カバーのみをこの段階で設置します。ここで設置しないとシンクによって設置できなくなります。



KBOM 083GC
幕板 (コンロ用)

この段階で設置しないと固定が困難になります。

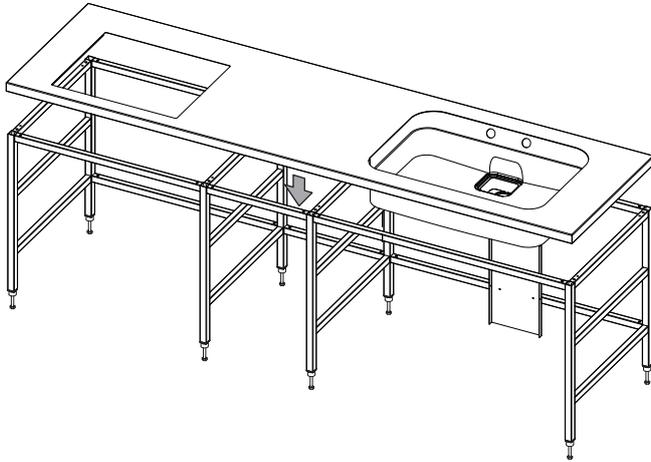


7 カウンターの取付け

フレームにカウンター付属のネジを使用して取付けてください。

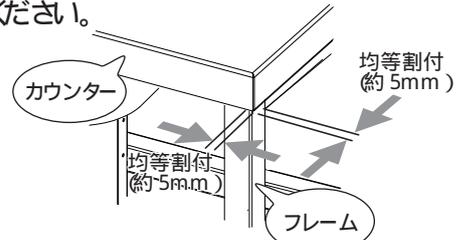
！注意

ステンレスカウンターの場合、裏面のクッション材（カウンター裏面4隅・中央付近4ヶ所、計8ヶ所）は剥がさないでください。
電食が起こり、錆の原因となります。

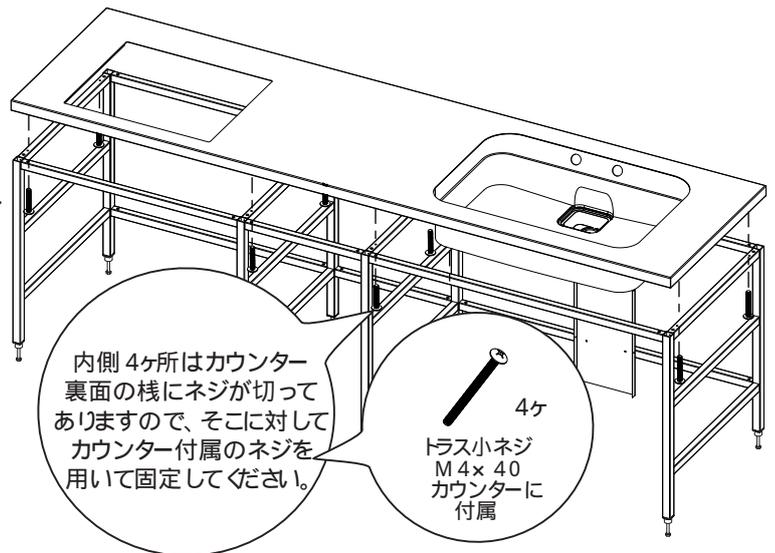
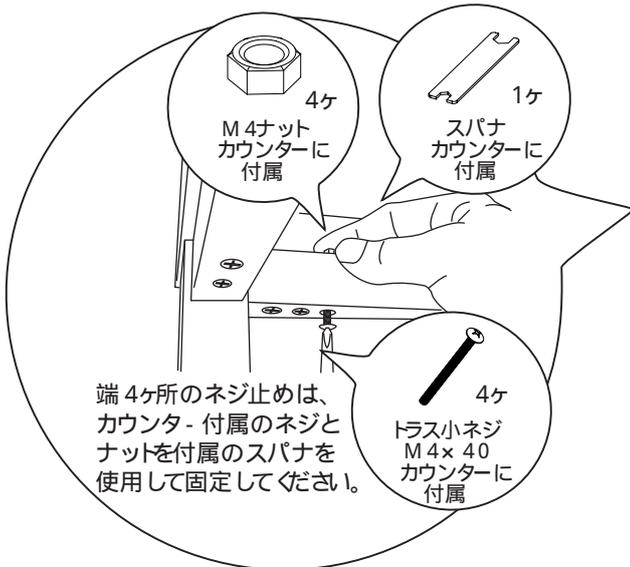


カウンターにより、固定方法が若干異なりますのでご注意ください。

カウンターとフレームとの出シロは左右・奥行ともに均等割付です。5mmを目安に均等に配置してください。



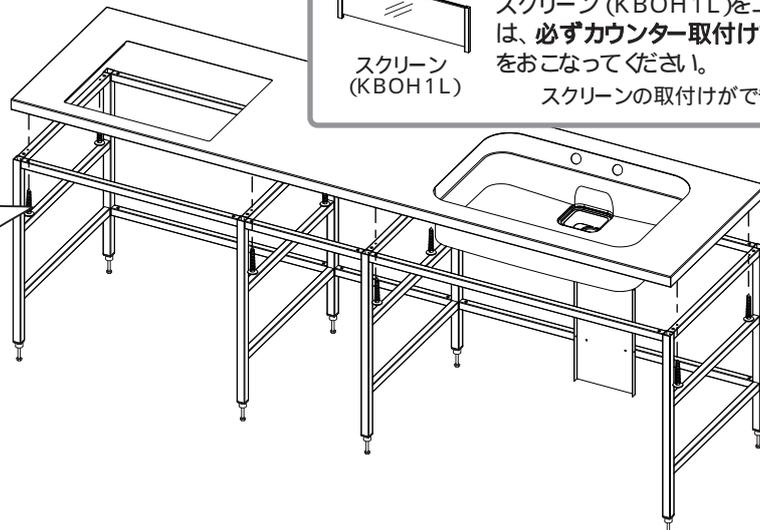
■ ステンレスカウンターの場合



■ クリスタルカウンターの場合



クリスタルカウンターと幕板（コンロ用）を併用し、スクリーン（KBOH1L）をコンロ前に設置する場合は、必ずカウンター取付け前にカウンター穴加工をおこなってください。
スクリーンの取付けができなくなります。



8 床固定

キッチンを固定するための位置にマーキングし、フレームに付属のアジャスタークリップ (床固定金具) を取付けます。

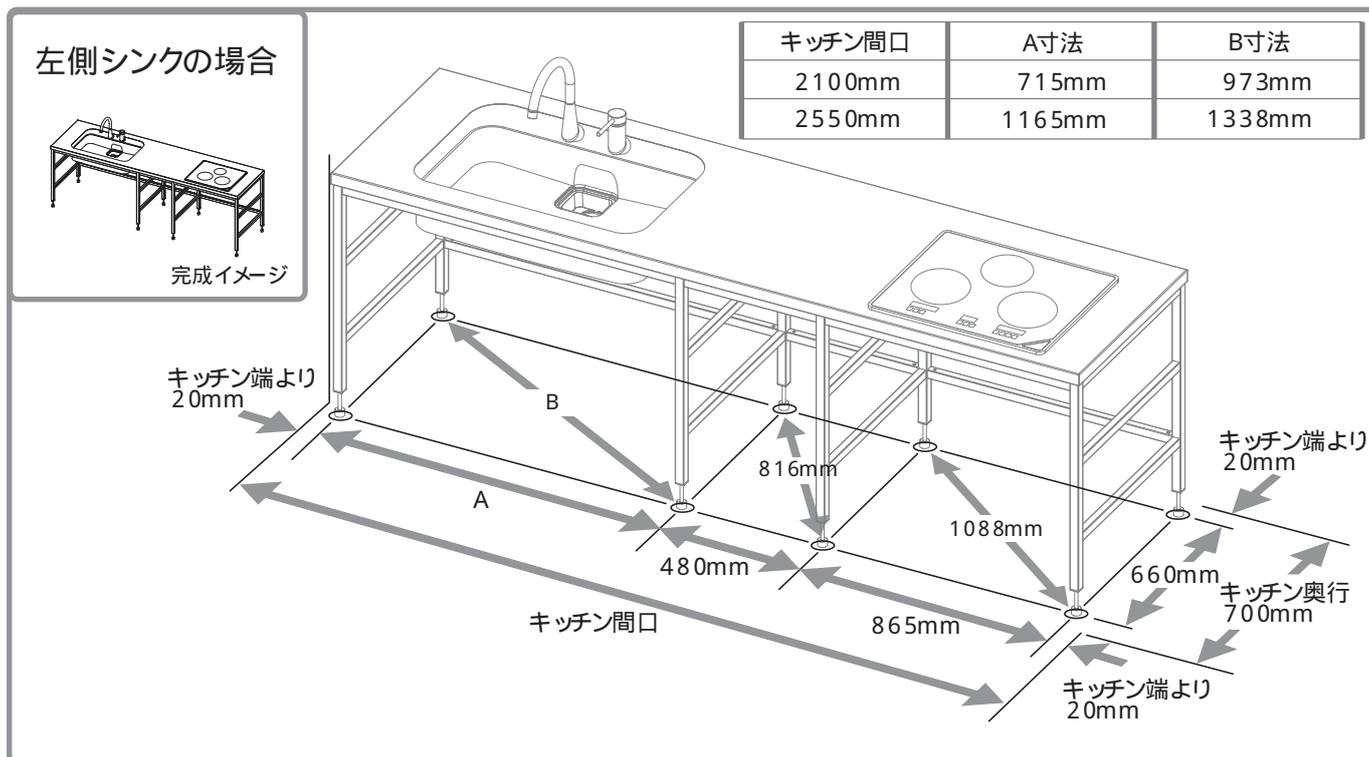
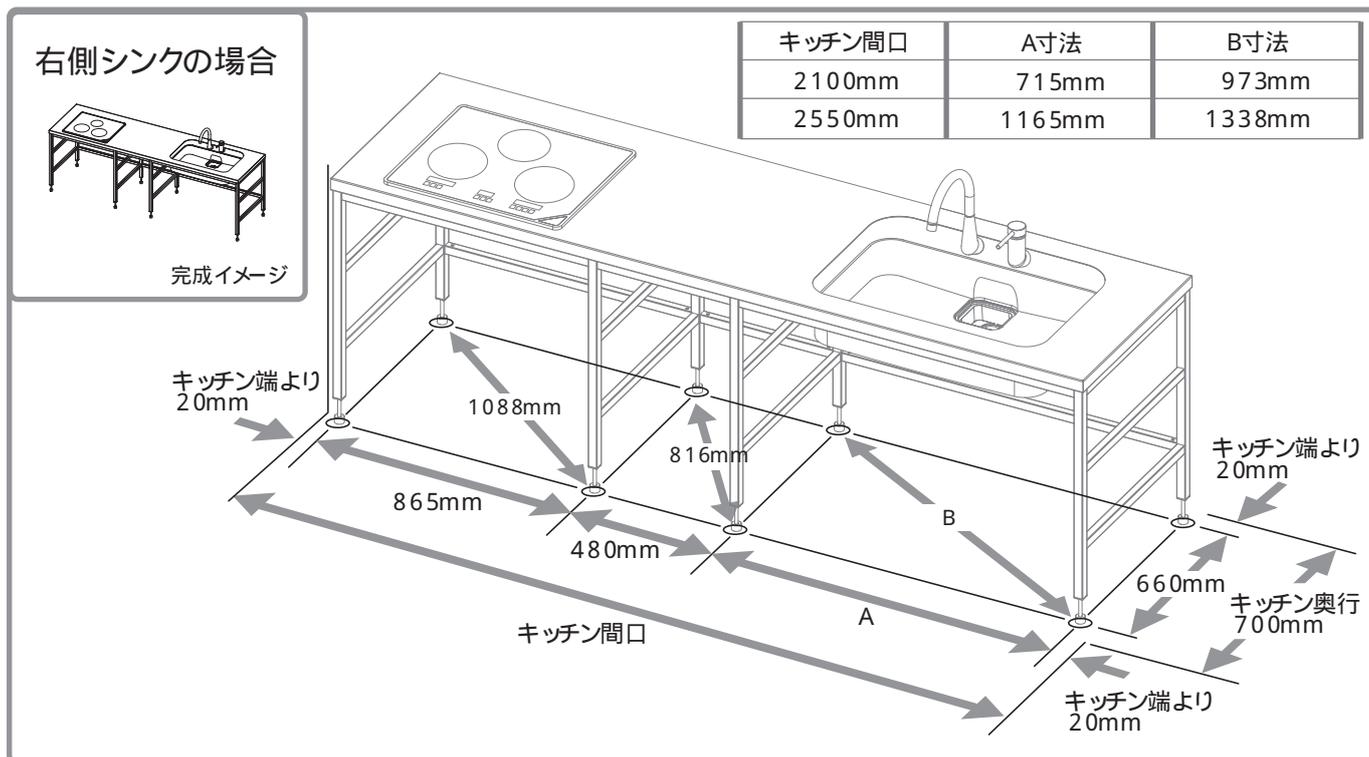
1. レイアウトに合わせ、下記の位置にマジックなどでマーキング (点打ち) してください。

⚠️ 注意



フレーム固定のための位置出しですので正確に行ってください。

ケガキ位置が正確でないと、変形や破損の原因となります。

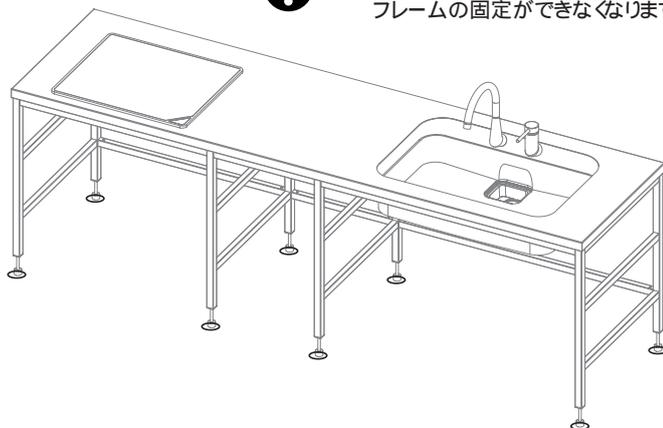
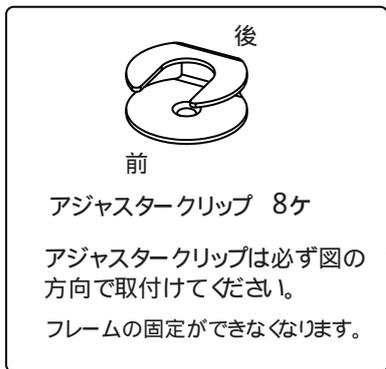


2. 先程印をつけた位置に付属のアジャスタークリップを取付けてください。

! 注意



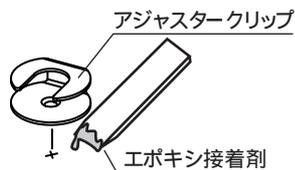
アジャスタークリップの向きを守ってください。
フレームの固定ができなくなります。



固定方法は床によって異なります。

床暖房・ネジ固定が出来ない床の場合

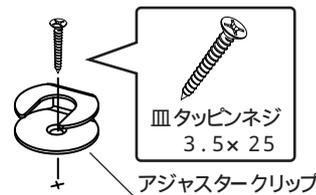
エポキシ系の接着剤 (現場手配) で床に固定してください。



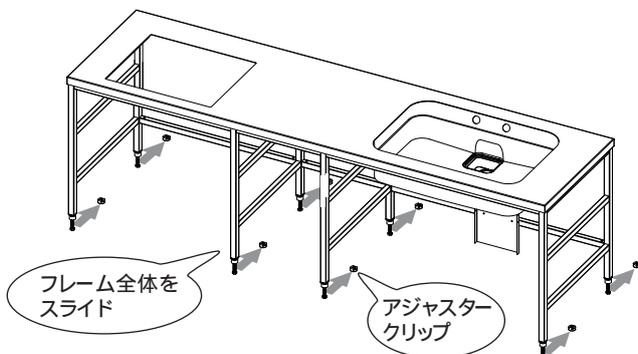
アジャスタークリップよりはみ出さないよう
ご注意ください。

通常床の場合

付属のネジで床に固定してください。



3. アジャスタークリップにフレームを固定し、不陸調整を行ってください。



! 注意



床を養生してから取付けをおこなってください。
フレーム移動の際、床を傷つけるおそれがあります。

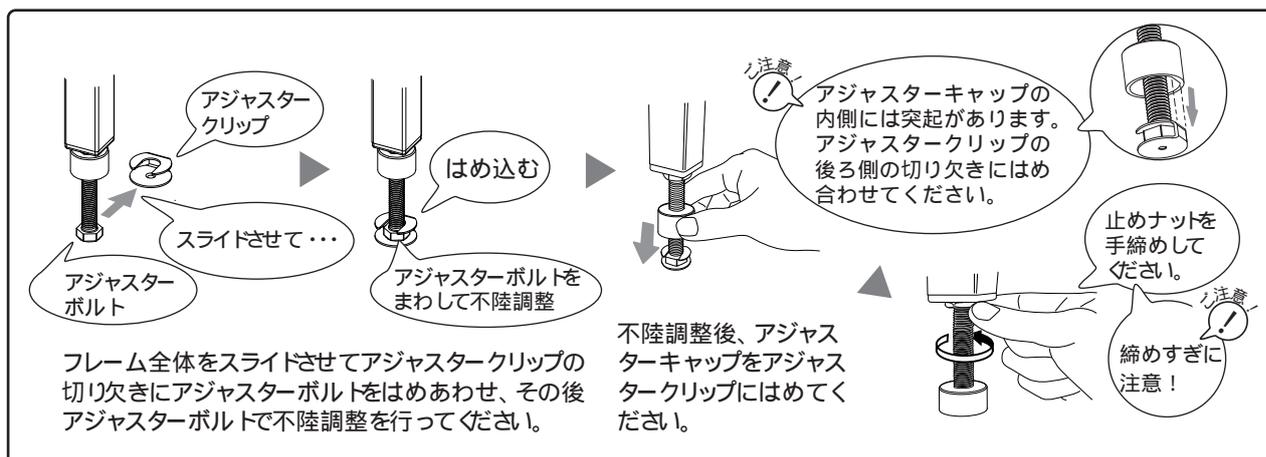


アジャスターキャップは確実に取付けてください。
フレームがたつきの原因になります。



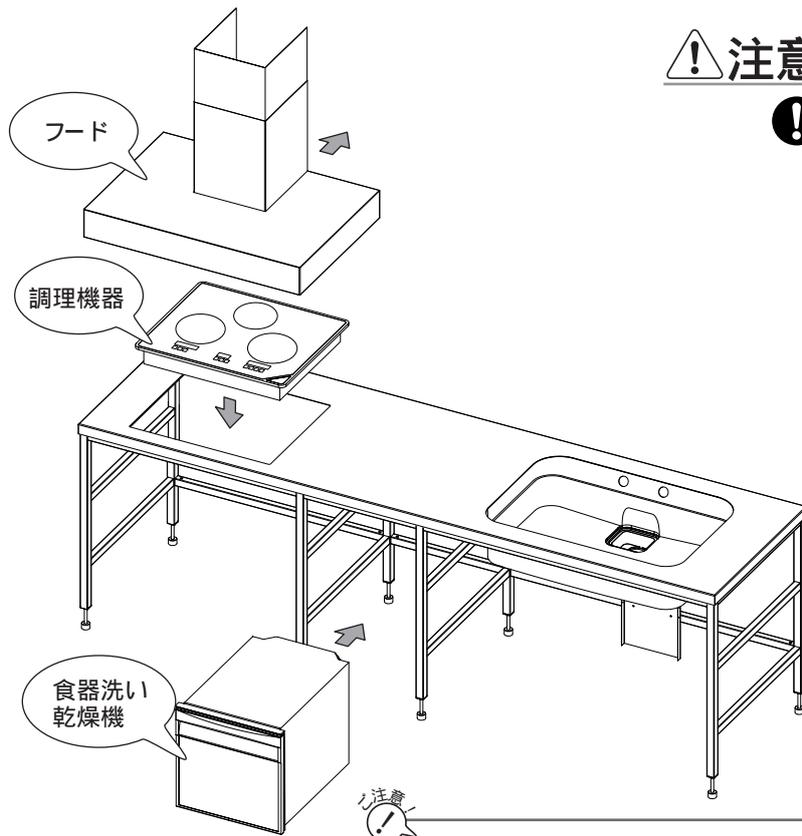
止めナットを締めすぎないでください。
アジャスターキャップが変形し、くらつき・破損
の原因となります。

フレームの床固定方法



9 機器の取付け

設置する各機器付属の施工説明書に従い、取付けをおこなってください。



! 注意



各部材に付属の施工説明書・本体の注意表示を必ずご覧いただき、正しい取付けをおこなってください。

取付け方法を誤ると、事故や故障の原因となります。



食器洗い乾燥機



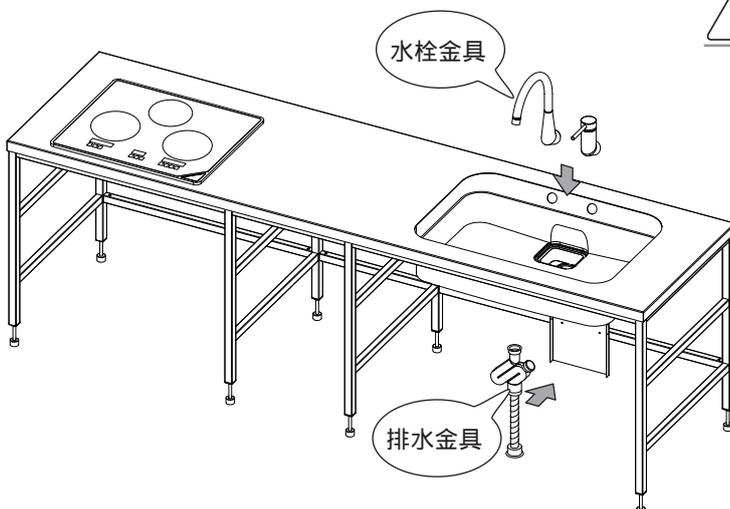
食器洗い乾燥機ユニット
(KBOM 045DWA)

食器洗い乾燥機設置には必ず食器洗い乾燥機ユニット(KBOM 045DWA)が必要です。

また、施工方法につきましては食器洗い乾燥機ユニット付属の施工説明書をご確認ください。

10 水栓 排水金具の取付け

設置する水栓 排水金具に付属の施工説明書に従い、取付けをおこなってください。



! 注意

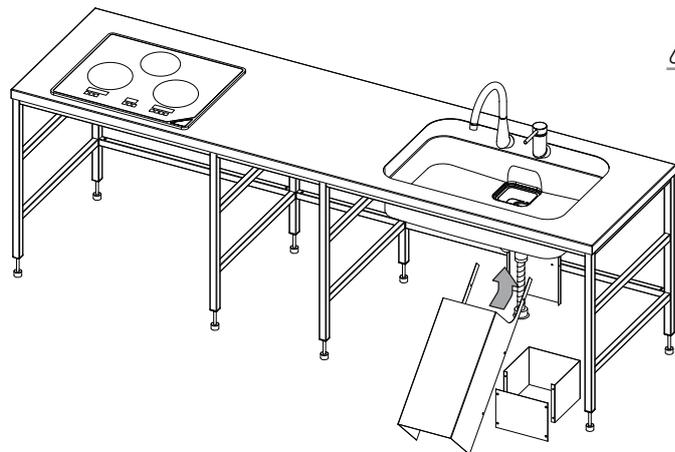


水栓に付属の施工説明書・本体の注意表示を必ずご覧いただき、正しい取付けをおこなってください。

取付け方法を誤ると、事故や故障・漏水の原因となります。

11 部材の設置2

「6. 部材の設置1」で1部品のみ設置した配管カバー(KBOX1)の残り、およびその他の設置するオプション部材を取付けてください。



! 注意



各部材に付属の施工説明書・本体の注意表示を必ずご覧いただき、正しい取付けをおこなってください。

取付け方法を誤ると、事故や故障の原因となります。

12 設置後の確認

各部材が確実に固定されているかをご確認いただき、下記実施願います。

■ 清掃

施工完了後、清掃をおこなってください。

■ メンテナンスラベルの記入

メンテナンスラベルにご記入いただき、取扱説明書保管袋に入れてください。

■ 検査

外観・機能・傷などのチェックを行い、この冊子末尾に付属の「施工完了報告書」に記入してください。

■ 養生

検査後、汚れたり傷つけられたりしないように厳重に養生をおこなってください。

特に、カウンター・シンクはご注意ください。

※養生は梱包のダンボールを使用するか、別途手配のエアシートなどを使うなどして保護してください。

■ 施工説明書の貼付け

配管工事など、後工事をする方のために、施工説明書を養生の上の見える位置にマスキングテープなどで貼付けてください。

13 ホルムアルデヒドについて

TOTOでは、お客様が安心してお使いいただけるようホルムアルデヒド放散量の少ない材料を採用しています。より快適にお使いいただけるよう下記の点についてご配慮をお願いいたします。

■ 新築、改築後間もない場合は充分換気しましょう。ホルムアルデヒドは高温になれば放散される性質があります。室温を高くての換気やキャビネット内の水拭きが効果的です。

■ ふだんでも通気や換気にご配慮ください。また、気温の高い夏や長時間密閉状態にしていた後などは、充分に換気をおこなってください。

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散区分に関する表示

「住宅部品表示ガイドライン」キッチン・バス工業会指針による

商品名	フレームキッチン	
製造企業名	TOTO株式会社	
ホルムアルデヒド発散区分	F☆☆☆☆	
製造番号	本体検査証に表示	
ホルムアルデヒド発散区分 (材料詳細)	PB	F☆☆☆☆
	MDF	F☆☆☆☆
	合板	F☆☆☆☆
	接着剤	F☆☆☆☆
問合せ先	0120-03-1010	

建築工事店様へ

- このキッチンには設置前に壁および床仕上げを完了していただく必要があります。
- フート設置には以下の木棧、またはそれに相当する強度が必要です。

警告

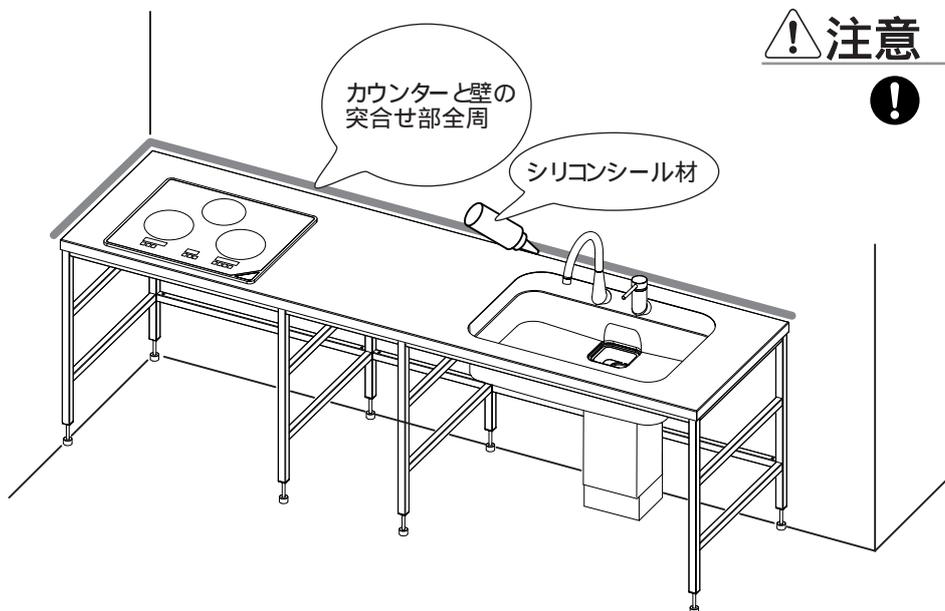


必ず各部材の規定する強度を確保してください。
強度が確保されていないと、使用中に落下しケガをするおそれがあります。

フートを壁付けする際の下地材は木棧 (90mm× 30mm) を使用してください。コンクリート型枠用合板を使用する場合は必ず厚みが 12mm 以上の JAS 規格品を使用してください。

フートを天井固定する際の木棧は 90mm× 90mm 程度のものを使用し、耐荷重 1960N/本 (200kgf/本) を確保してください。

- キッチン施工完了をご確認の上、カウンターと壁材との突合わせ部をシリコンシール材でシールしてください。



注意

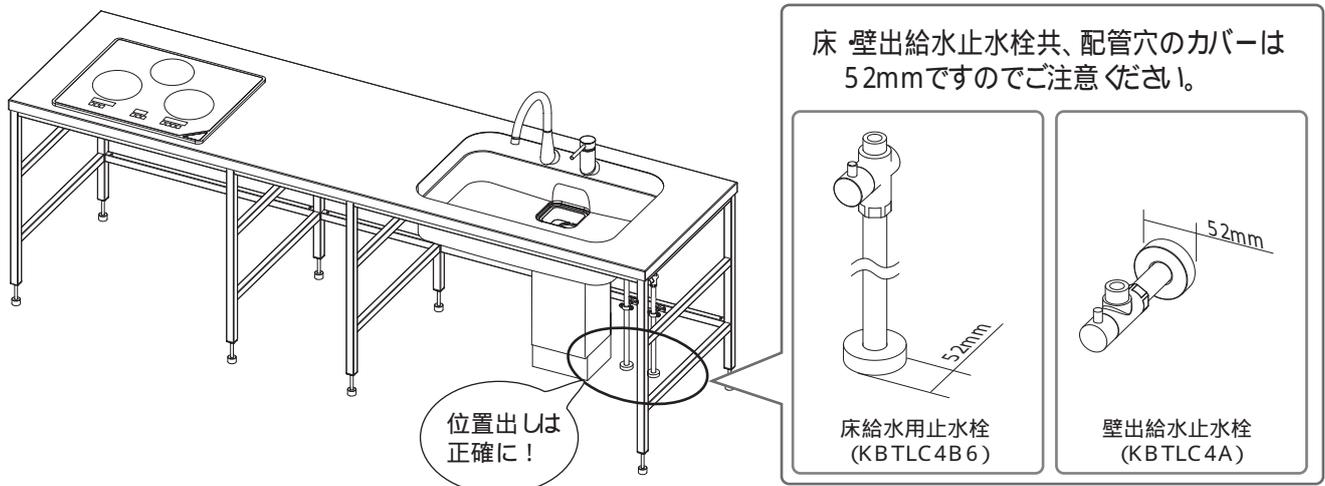


取付け 仕上げ工事に使われる、溶剤 接着剤・洗剤その他薬品類については、容器などに記載の注意表示にしたがって正しくお使いください。

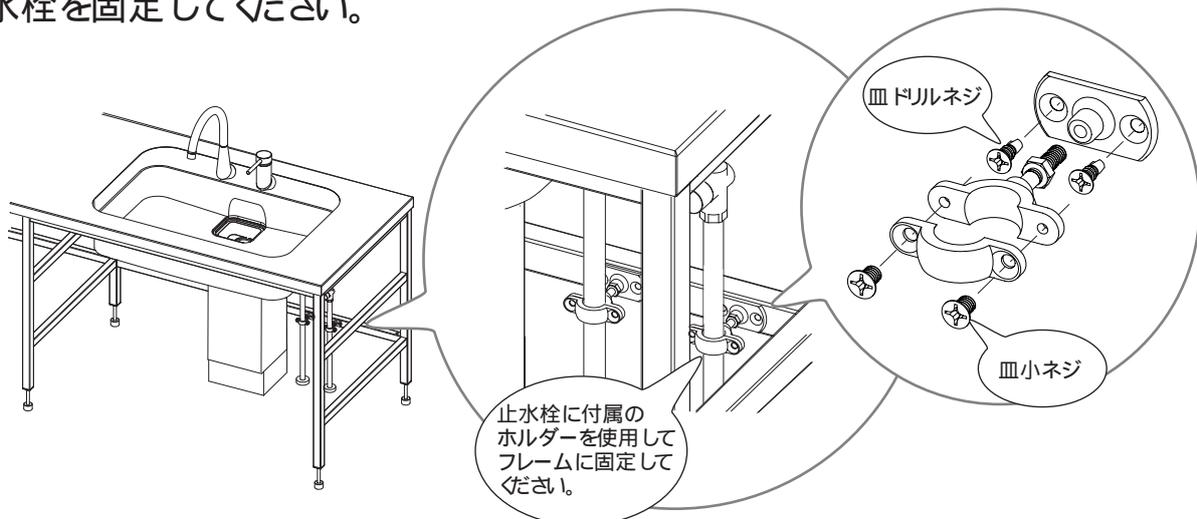
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、キッチン部材の損傷や劣化の原因となります。

水道工事店様へ

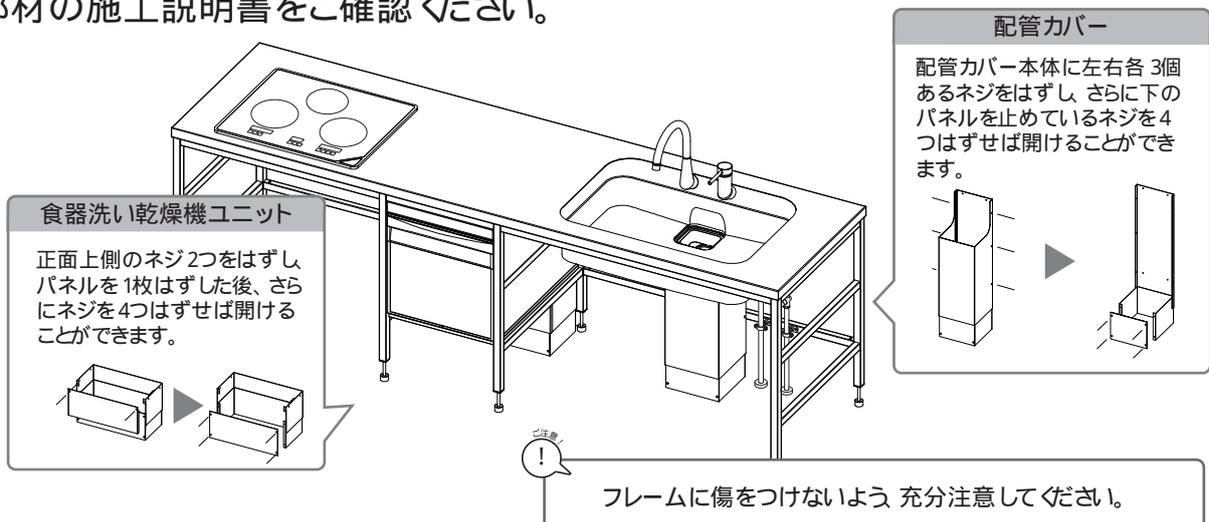
- このキッチンには給水・給湯止水栓が露出しますので、位置出しは施工図をご確認の上、正確におこなってください。



- 床給水止水栓 (KB TLC 4B 6) ご使用の場合、付属のホルダーを使用してフレームに止水栓を固定してください。

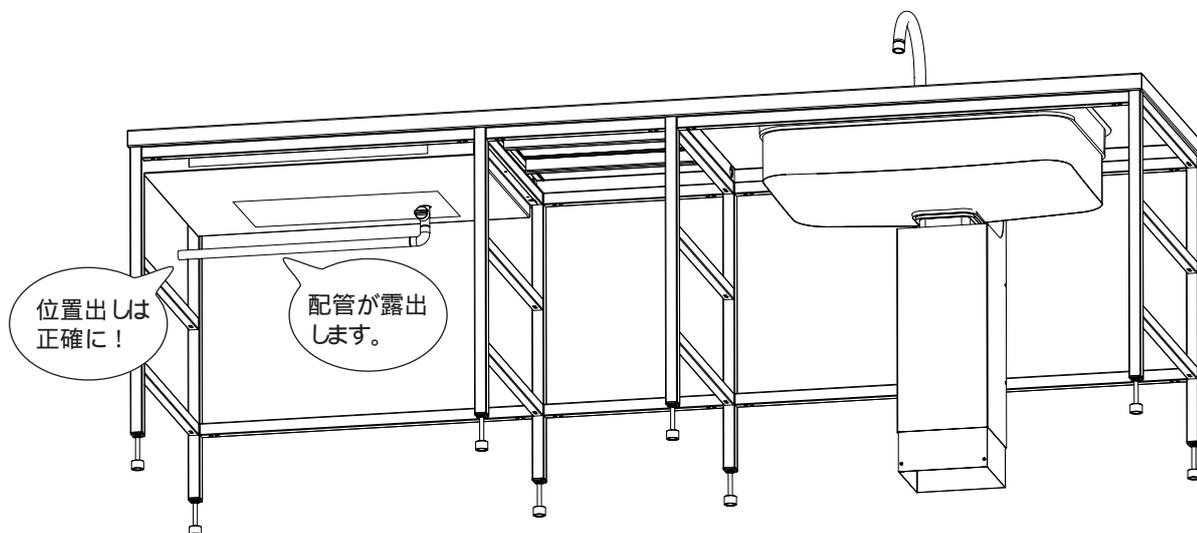


- 排水・食器洗い乾燥機の配管にはカバーが付いています。それぞれのはずし方は各部材の施工説明書をご確認ください。

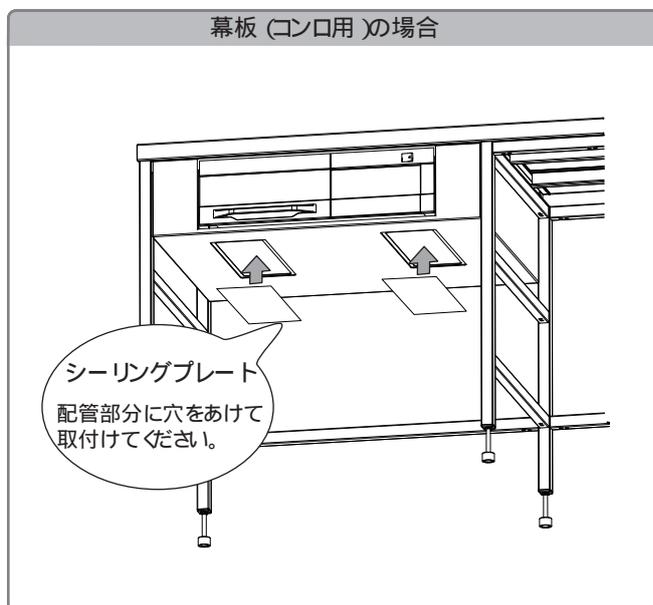
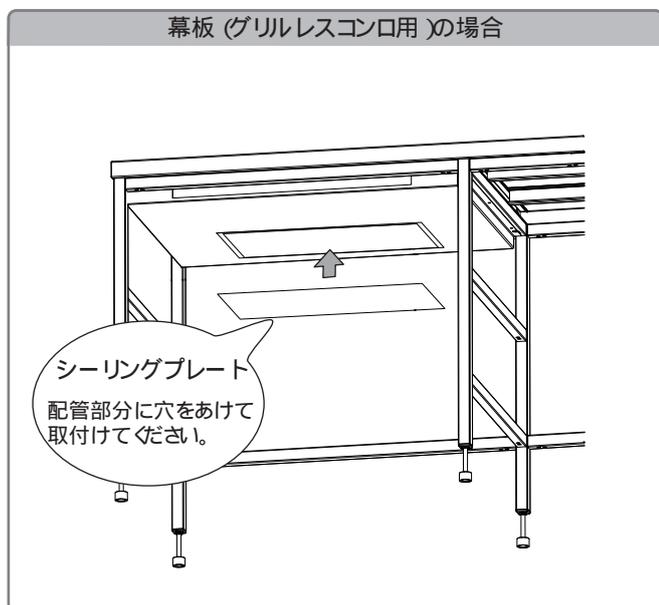


ガス工事店様へ

- このキッチンにはガス配管が露出しますので、位置出しは施工図をご確認の上、正確におこなってください。



- コンロ幕板には配管を通す為のシーリングプレートが同梱されています。コンロ幕板に付属の施工説明書を参照の上、取付けてください。



F r a m e K i t c h e n

- 施工完了報告書 -

施工完了後、検査を実施し、本施工報告書にご記入願います。複写式になっておりますので、記入後本ページと次ページを施工説明書より切り離し、本ページは施工店様の控えとして、次ページはキッチンに貼付け報告用として使用してください。

現場名： (工事 No .) 施工完了日：

施工店名： 施工者名： 連絡先：

下記検査を実施し、確認した箇所にはチェック欄にチェック () してください。
対象外の場合はチェック欄を塗りつぶし () してください。

排水関係

- 排水金具締付けナット部にゆるみのないこと
- 水張試験による漏水確認をし、ナット部に封印シールを貼付けしてあること

固定

- フードは壁または天井下地へ確実に固定されていること
- フレームは床に確実に固定されていること
- フレームとカウンターは固定されていること
- 調理機器はカウンターに固定されていること
- レイアウト通り設置されていること
- 各オプションは確実に固定されていること

外観

- 扉・引出しのチリがあっていること
- 扉・引出しの開閉にガタ・こすれのないこと
- フレームにキズ・汚れのないこと
- 扉・把手・パネルにキズ・汚れのないこと
- カウンター・シンクにキズ・汚れのないこと
- フード・調理機器類にキズ・汚れのないこと

その他

- メンテナンスラベルに施工日・施工店名を記入してあること
- 清掃後、キッチン全面を養生してあること
- 取扱い説明書がまとめて所定の位置にあること
- 後工程業者へ施工説明書が所定の位置にあること

備考欄

後工程業者様へ連絡事項がある場合は、該当項目のチェック欄にチェック () をつけてください。

- 止水栓の取付けおよび水栓金具給・給湯接続
- 食器洗い乾燥機の給湯 (水) 管・排水接続
- ガス機器へのガス管接続
- フードダクトへのダクト配管接続
- カウンター周り壁面とのコーキング処理
- その他：

F r a m e K i t c h e n

- 施工完了報告書 -

この用紙はキッチンの施工が確実に行われ、下記の点を確認したことを証明するものです。関連工事が完了するまで、キッチンの目のつく場所に貼り付けておいてください。

現場名： (工事No.) 施工完了日：

施工店名： 施工者名： 連絡先：

キッチン施工後、以下の点を確認いたしましたのでご報告いたします。確認済みの点はチェックを、対象外の場合は塗りつぶしをしております。

排水関係

- 排水金具締付けナット部にゆるみのないこと
- 水張試験による漏水確認をし、ナット部に封印シールを貼付けしてあること

固定

- フードは壁または天井下地へ確実に固定されていること
- フレームは床に確実に固定されていること
- フレームとカウンターは固定されていること
- 調理機器はカウンターに固定されていること
- レイアウト通り設置されていること
- 各オプションは確実に固定されていること

外観

- 扉・引出しのチリがあっていること
- 扉・引出しの開閉にガタ・こすれのないこと
- フレームにキズ・汚れのないこと
- 扉・把手・パネルにキズ・汚れのないこと
- カウンター・シンクにキズ・汚れのないこと
- フード・調理機器類にキズ・汚れのないこと

その他

- メンテナンスラベルに施工日・施工店名を記入してあること
- 清掃後、キッチン全面を養生してあること
- 取扱い説明書がまとめて所定の位置にあること
- 後工程業者へ施工説明書が所定の位置にあること

備考欄

建築・設備業者様へ

下記工事（チェック部）がキッチン施工外として残っております。

- 止水栓の取付けおよび水栓金具給・給湯接続
- 食器洗い乾燥機の給湯（水）管・排水接続
- ガス機器へのガス管接続
- フードダクトへのダクト配管接続
- カウンター周り壁面とのコーキング処理
- その他：

